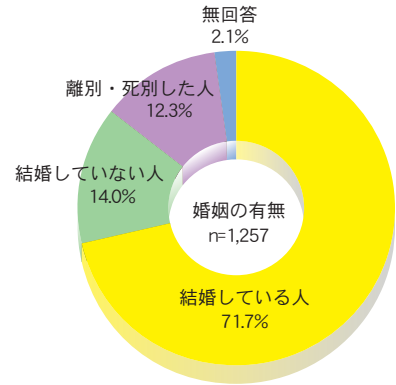
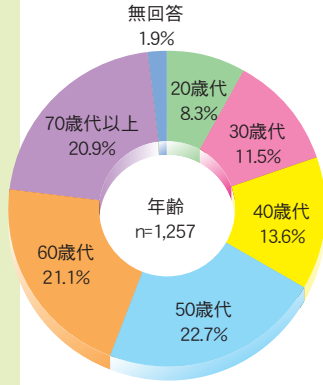
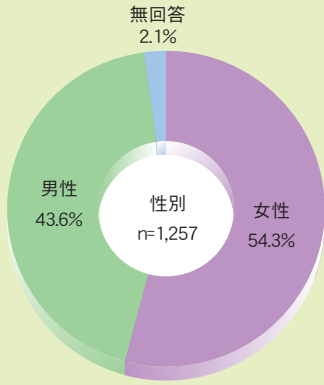


# 1 アンケート調査概要

- 調査目的：宮崎県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画施策の一層の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施しました。
- 調査対象：宮崎県在住の20歳以上の男女3,000人（男女各1,500人）
- 調査時期：平成22年7月～8月
- 有効回答数：1,257人（有効回収率41.9%）



## 2 男女平等に関する意識

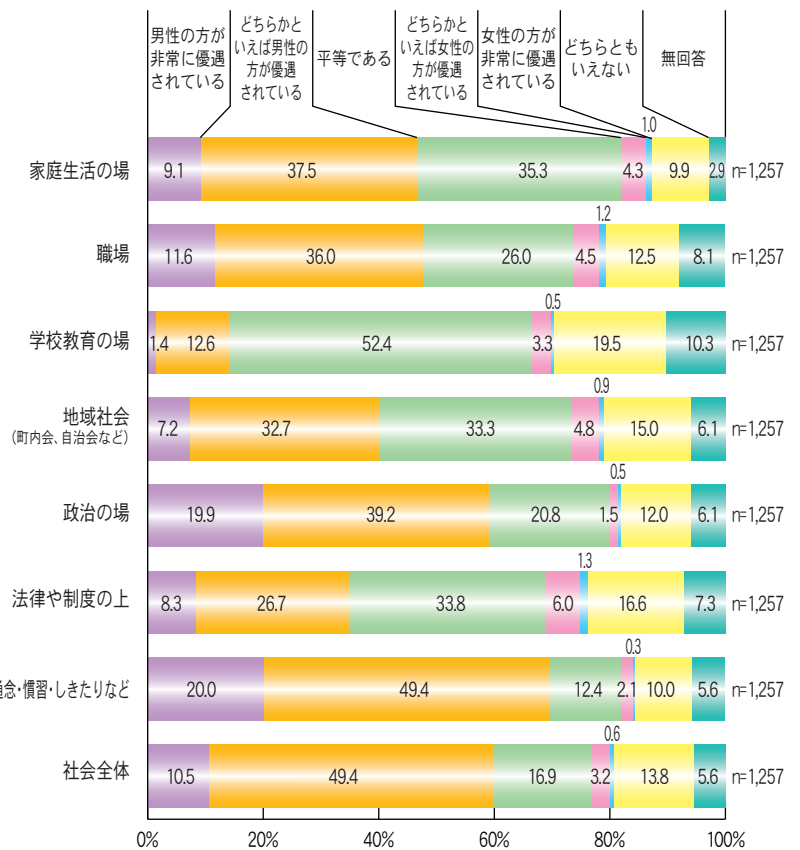
### 「学校教育の場」以外では男性優遇感が強い

男女の平等感については、生活の様々な場面で男性が優遇されていると感じている人の割合が高く、特に「社会通念・慣習・しきたりなど」では、約7割（69.4%）の人が「男性優遇」と感じています。

「社会全体」でも、男女が平等であると感じている人の割合は2割弱（16.9%）にとどまっています。

一方、「学校教育の場」では平等感が高く、約半数（52.4%）の人が男女が平等であると感じています。

### 男女の平等感



#### この冊子の見方

- 百分率は小数点第2位で四捨五入にし、小数点第1位までを示しているため、単一回答の回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問（グラフ上にMA=Multi Answerと記載）は回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 各データの集計母数（人数）はnで示してあります。